

対象クラス	第2学年 生活デザイン科	単位数	2
使用教科書	家庭総合(実教出版)		
使用副教材	生活学Navi(実教出版)		

「家庭総合」とはこんな科目です。
 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に学習します。また、家庭や地域の生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につけることを目指しています。2年生では衣分野、食分野、高齢者との関わり、消費生活、経済について学習します。

科目の到達目標(目標とする検定等)
 ・2年間を通して、生活者として人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得します。
 ・生活デザイン科では、科目で学んだ知識や技術の上に更に専門的な知識を学習し、自分や地域の生活の充実向上に生かすことができる人を目指します。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、必要な知識や技能を身に付けている。	・定期考査、ワークシート、 ・授業態度
思考・判断・表現	3	・生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見つけ、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察している。 ・学んだことを生かして根拠に基づいて表現しようとしている。	・ワークシート ・授業態度 ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	3	・よりよい社会の構築に向けて積極的に地域社会に参画しようとしている。 ・自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度で取り組んでいる。	・ホームプロジェクトへの取組状況 ・ワークシート ・レポート、作品

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 第6章 食生活をつくる 第4章 高齢者とかかわる 【前期中間考査】	・学校家庭クラブ ・ホームプロジェクトについて ・食事の計画と調理 ・これからの食生活を考える ・高齢社会に生きる ・高齢者を知る	・学校家庭クラブやホームプロジェクトの意義と実施方法について理解する。 ・自分と家族が健康を保持増進するために食生活とは何か考える。 ・栄養と嗜好、費用、調理の効率環境・安全に配慮した食生活の計画・管理ができるよう主体的に取り組む。 ・食を取り巻く環境の変化に伴う課題を理解し、解決に向けて考える。 ・生涯を見通して高齢期を捉え、高齢者の心身の特徴について理解する。 ・高齢者の疑似体験や視聴覚教材などを通して体験的に理解する。 ・認知症の対応方法を理解する。
前期	第4章 高齢者とかかわる 第5章 社会とかかわる 【前期期末考査】	・高齢者の自立を支える ・高齢社会を支えるしくみ ・支えあって生きる ・共生社会を生きる ・ホームプロジェクト実践 ・ホームプロジェクト発表	・高齢者の自立生活を支えるための支援や介護について理解する。 ・高齢者の心身の状況に応じた日常生活の介助支援を理解する。 ・生活を支える福祉や社会的支援について理解する。 ・家庭と地域の関わりについて考え、様々な人が支え合って生きることの意義と重要性を理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付け、課題を設定し、解決方法を考え、計画を立ててホームプロジェクトを実践し、発表する。
後期中間	第7章 衣生活をつくる 【後期中間考査】	・人と衣服のかかわり ・衣服の素材の種類と特徴 ・衣服の選択から管理まで ・持続可能な衣生活をつくる ・私たちが繋ぐ衣生活の文化 ・衣服をつくろう	・衣文化の変遷などに関心をもち、被服と人の関わりについて理解する。 ・布の種類や特徴、性能について理解する。 ・汚れの落ちる仕組みを科学的に理解する。 ・資源としての被服を理解し、循環型の被服計画を考える。 ・日本の衣文化の継承・創造について考える。 ・学んだ知識や技術を生かし、自分らしい作品をつくる。

<p>学 年 末</p>	<p>第9章 消費行動を考 える</p> <p>第10章 経済的に自立す る</p> <p>第1章 これからの人生 について考えよう 【学年末考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費行動と意思決定 ・消費生活の現状と課題 ・消費者の権利と責任 ・ライフスタイルと環境 ・暮らしと経済 ・将来のライフプランニング ・これからの人生をデザイン する 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性を理解する。 ・消費の生活の現状や課題、消費者問題を理解する。 ・消費者の権利を理解し、責任と自覚ある行動について考える。 ・生活と環境との関わりや持続可能な消費について考える。 ・家計の構造や生活と経済・社会の関わりについて理解する。 ・社会保障制度などを関連付けて、生涯を見通した経済の計画や管理 (リスク管理)について考える。 ・2年間学習してきたことと関連付けながら、生涯を見通し、自分の生活に ついて主体的に考え、ライフスタイルなどを考察し、生活設計を考える。
----------------------	--	--	---